

事業実績報告書

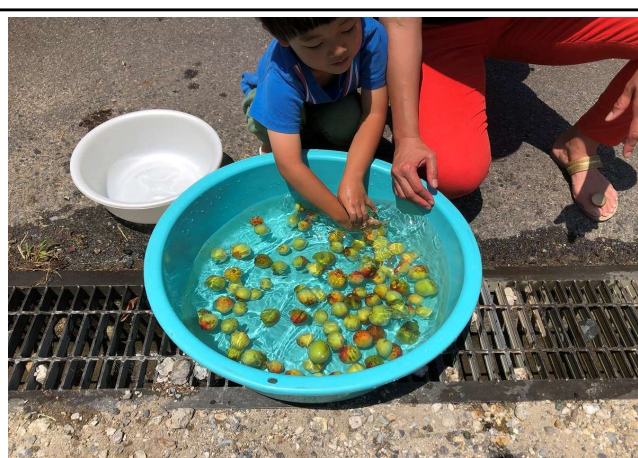
様式2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	C-13	講座名	受講生と共につくり、学びあう体験講座 ～ 18年連続開催中～
記載日		団体名・企業名	株式会社山田組

〈講座全体の概要〉(300字程度)

当社は2005年のなごや環境大学開学以来、連続して共育講座を企画・開催してきました。今年度はコロナウイルス感染拡大の影響を勘案して講座数を3つに絞り、初回を「都市農業の現場を訪れ収穫体験をする」、第2回を「都市の緑地の効用の一つである防災機能について現地で学ぶ」、第3回を「地域の防災イベントの実際を体験する」のテーマを設定しましたが、結果的には初回講座のみを実施して残りの2講座はコロナ禍の影響を受けてやむなく中止となりました。



※写真1の説明

第1回講座の梅の収穫体験の様子

※写真2の説明

第1回講座の梅ジュースづくり体験の様子

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

コロナ禍の影響を心配していましたが、戸外での講座ということもあってか予想を大きく超える参加者を迎えることになりました。当日は講座の開始前に除菌などの感染防止の呼びかけをするとともに、小グループに分けて時差を設けて収穫や梅ジュースづくりの体験をしてもらうなどの配慮をしました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

「自然の中で普段できないことができた。」 「外での活動は、やはり気持ちが良い」
 「名古屋市内でこうした体験ができて嬉しい」
 「広々とした見晴らしの良い農園で徐々に晴れ晴れした気分になりました。」
 「自分で収穫した梅でつくった梅ジュースを飲むのが今から楽しみです」 など